

**製品名: PABP5 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15682**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	43kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PABPC5
別名	PABPC5; PABP5; Polyadenylate-binding protein 5; PABP-5; Poly(A)-binding protein 5
遺伝子 ID	140886.0
SwissProt ID	Q96DU9
免疫原	抗血清はヒト PABPC5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 184-233

**背景**

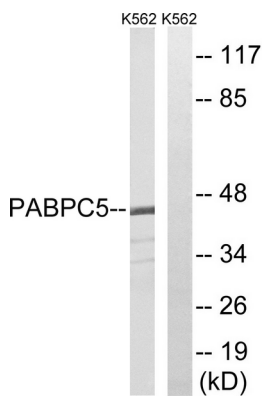
この遺伝子は、ほとんどの真核生物 mRNA の 3'末端に存在するポリ A テールに結合するタンパク質をコードしています。細胞質における mRNA 代謝プロセスの調節に関与していると考えられています。この遺伝子は、X 染色体特異的な 13d-sY43 サブインターバル

内の遺伝子密度の低い領域に位置しています。早発卵巣不全に関連する転座切断点に近接しているため、この疾患の候補遺伝子となる可能性があります。[RefSeq 提供、2010年5月]、機能: mRNA のポリ A テールに結合する。mRNA 代謝の細胞質における調節プロセスに関与している可能性がある。生体内ではポリ(A)以外の細胞質 RNA 配列に結合する可能性がある。類似性:4つのRRM(RNA認識モチーフ)ドメインを含む。組織特異性:胎児脳および成人のさまざまな組織で発現する。、

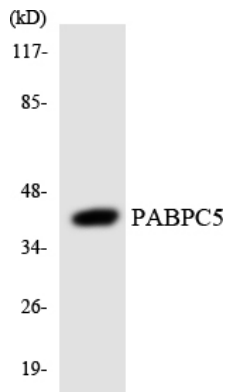
## 研究分野

-

## 画像データ



PABPC5 抗体を用いた K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



PABPC5 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。